

### 3-2 整備・保全・利用の方針

- 1.天竜川の水源地の1つである南アルプスを守ります。
- 2.小渋川の自然環境を復元し保全します。

### 3-3 具体的な方策として

- ・ 登山道のダイナミックさを維持するためにも、コンクリート構造物は極力避け、自然な形で保全します。
- ・ 溪流に入ることが出来るように 蛇笥などで整備を行い、良好な景観を味わえるようにします。
- ・ 上流の森林を保全します。
- ・ 良好な景観に配慮した砂防事業とします。
- ・ 小渋ダムからの安定した放流量を確保します。
- ・ 砂防ダムについては、魚が遡上できるようにしたり遊歩道を設置するなどの見直しを、将来整備する砂防ダムも含めて行います。

などが考えられます。

## ゾーン名 4.【峡北竜東ゾーン】

### 4-1 ゾーンの特徴

- ・ 地形的に勾配が急で、36災時には甚大な被害を受けた場所です。
- ・ 小河川が多く、随所が危険箇所となっています。
- ・ 現在は36災の大氾濫が嘘のように川が静かに流れています。

### 4-2 整備・保全・利用の方針

- 1.治山と治水を総合的に実施し災害を防ぎます。

### 4-3 具体的な方策として

- ・ 流木を防ぐため、広葉樹の植樹など山間部の保全を行います。
- ・ 河床を掘削して、水が流れる断面を大きくします。      などが考えられます。

## ゾーン名 5.【飯田松川ゾーン】

### 5-1 ゾーンの特徴

- ・ 上流から流出する多量の土砂がダムに堆積しています。
- ・ 以前から、沿川住民の水質浄化に関する高い意識があります。
- ・ 地域の人々の力で良い川になりつつあります。
- ・ 高水敷が整備され市民の憩いの場となっている所もあります。

### 5-2 整備・保全・利用の方針

- 1.飯田松川の水源地の保全と都市排水の向上を図ります。
- 2.飯田松川に入り飯田松川を知ります。
- 3.総合的な土砂管理を推進します。
- 4.飯田市における保水機能の向上を図ります。

### 5-3 具体的な方策として

- ・ 上流の清流を保全します。
- ・ 住民・企業・行政が一体となって排水の向上を図ります。
- ・ 水質保全・河川整備に関する住民意識の基盤を活かします。
- ・ 農業や消雪剤の流出抑制、生活排水の規制、粉塵対策等により水質を保全します
- ・ 従来の住民主体の組織を維持・活性化していきます。
- ・ 飯田松川に入ることのできる施設を整備します。
- ・ 飯田松川の様々な実状をより深く理解します。
- ・ 環境教育の場、河川愛護活動の対象となるよう改善を図ります。
- ・ 広葉樹の植樹や針葉樹林の手入れ、林道の見直しを行います。
- ・ ダムの排砂トンネル等を整備します。
- ・ 雨水貯留施設や地下浸透施設の整備を促進します。
- ・ 開発に伴う水の流出増を抑制します。

などが考えられます。

